

[成果情報名] バラの「ソーラーローズシステム」における低コスト栽植密度

[要約] バラの低コスト・省力生産技術「ソーラーローズシステム」では、床幅140cm、通路80cm、条間110cm、株間40cm、2条植えの超疎植栽培（7.5株/3.3㎡定植）を行うことにより、慣行栽培（10株/3.3㎡定植）と同等の切り花品質・切り花収量が得られる。

[キーワード] バラ、低コスト、省力、疎植

[担当] 総合農林試験場・野菜花き部・花き科

[連絡先] 電話 0957-26-3330、電子メール arakabu@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 花き

[分類] 普及

[背景・ねらい]

「ソーラーローズシステム」は、10株/3.3㎡定植の疎植栽培で、切り花品・切り花収量が向上する。

しかし、さらに疎植栽培が可能と考えられるため、7.5株/3.3㎡定植における「ソーラーローズシステム」の生産性を検討する。

[成果の内容・特徴]

1 .「ソーラーローズシステム」の超疎植栽培（7.5株/3.3㎡）では、10a当たり種苗費は810,000円となり、慣行栽培の1,080,000円に比べると75%に種苗費を低減できる（表1、表2）。

これを、従来の切り上げ栽培の種苗費1,728,000円に比べると、47%に大幅に低減することができる（表1、表2）。

2 . 超疎植栽培は、慣行栽培と同等の切り花品質・切り花収量が得られる（表3）。

[成果の活用面・留意点]

[具体的データ]

表1 栽培法と栽植密度

栽培法	定植法	床幅	通路	条間	条数	株間	栽植密度	比	率
ソーラーローズシステム	慣行	120cm	80cm	90cm	2条	30cm	10株/3.3m ²	62.5	100.0
	超疎植	140	80	110	2	40	7.5	46.9	75.0
切り上げ	密植	80	60	30	2	25	16	100.0	-

表2 10a当たり種苗費

栽培法	定植法	種苗費
ソーラーローズシステム	慣行	1,080,000円
	超疎植	810,000
切り上げ	密植	1,728,000

注) 苗1本単価 360円

表3 「ローテローゼ」の「ソーラーローズシステム」における定植法と切り花本数

定植法	80cm以上	70～80cm	60～70cm	50～60cm	40～50cm	計
慣行	本数 52800本	33000本	25500本	6900本	600本	118800本
	割合 44.4%	27.8%	21.5%	5.8%	0.5%	100.0%
超疎植	本数 54300	30600	26400	7800	900	120000
	割合 45.2	25.5	22.0	6.5	0.8	100.0

注1) 定植 平成13年4月

注2) 調査期間 平成13年11月～14年10月

[その他]

研究課題名：不耕起による切り花の連続栽培技術確立

予算区分：県単

研究期間：2002～2005年度

研究担当者：出口 浩、松尾崇宏